



第 42 号

所 場 会  
行 行 同  
区 区 窓  
水 水 校  
沢 沢 高  
0197-24-3151

昨年、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まりました。招致委員会の総力を結集させたほか、日本独特の「おもてなし」の精神も伝わったのかもしれない。

東京オリンピックといえ、私はすぐに「昭和39年10月」と頭の中に浮かびます。それは丁度、水高1年生だったからです。当時、東京五輪を覚えていた年代の方々も50年前自分が何をしていた頃か俄かに思い出すでしょう。私はテレビを通して、抜けるような青空の下での開会式、そこに描かれた五輪の輪、各国選手団の個性ある入場行進、そして競技に入っていたの日本選手の活躍に拍手を送ったものでした。女子バレーボール、マラ



### 忘れえぬ記憶

同窓会長 長野 耕 定

ソンの円谷幸吉選手等々。なかでも重量挙げの三宅義信選手の金メダルが印象に残っています。力技の競技で日本人が勝つなんて衝撃的な事でした。最近分かった事です、重量挙げは力だけではなく、体の柔軟性、手首をかえし差し込むタイミングなどいろんな要素があってこそ、あんな重いバーベルを持ち上げる事が出来るのを知りました。再来年に第71回国民体育大会が岩手で開催されます。私も体育協会として大会の円滑な運営を目指しているところですが、奥州市で行われる競技の中に、ウエイトリフティングが入っているのです。普及、強化に向けてメダリストの三宅義行さん、宏実さん親子を迎えて指導をいただいているところ

ろです。特筆すべきは、この種目で今年度、本校3年の及川佳将君(56kg級)と千葉健介君(53kg級)の活躍でした。二人とも長崎国体に出場を果たしました。両君は今後進学しても競技を継続されると聞いております。さらなる活躍を祈念すると共に、応援を続けていきたいと思っております。

今年度まる3年になる東日本大震災、未だに復興復旧は道半ば時間がかかっています。私達も含め絶対に忘れること出来ない年にもなりましたが、今春卒業する生徒さんにとっても本校入学を目前に起きた出来事でした。私の高1の時の事とは違い、家族・地域等胸に深く刻まれたことでしょう。

う。同窓生の方々も復興支援、交流などを通じて被災地との関わりを持たれてきたと思います。今後も大いに関心を持ち続けていかなければならないと思っております。来る岩手国体の趣旨にも、大会を一過性のもものとせず、大震災からの復旧復興過程にあることを踏まえつつ、全国からの復興支援に感謝を込めて開催すると述べられてるところです。最後に、このところ毎年参加者が増えてきております本部同窓会も、すでに今年度の開催日が決まっております。8月9日土曜日に開催しておりますので、皆さん多くの参加を願っております。今年も宜しくお祈り致します。

### 同窓会総会

今年度の総会は、8月10日土曜日14時から水沢グランドホテルで開催されました。

今年度も多くの同窓生にお集まりいただき、総会には55名、後援会には75名、懇親会には62名のご参加をいただきました。総会では、事業計画やそれに伴う予算、新役員などご承認いただきました。

今年度も昨年を引き継ぎ、総会後、講演会を開催しました。昭和47年卒(24回生)の青沼国夫氏に「私の異文化体験〜東南アジアからの報告」と題して講演していただきました。青沼氏は現在はフィリピンでEPA看護師・介護福祉士候補者のための日本語コースの主任として活躍されており、海外生活二十年、一貫して日本語教育に携わっている方です。



ご自身の経歴をお話しいただきながら海外の状況を説明していただきました。そして、その海外経験から異文化を理解するには常識をずてることや広い心を

もつこと、またカルチャーショックを楽しむことなどが必要であることを聞くことが出来ました。同窓生ではないが青沼さんの講演を聞きたいという人もあり、大好評でした。



その後の懇親会でも、青沼さんはじめ出席いただいた同窓生の方々に親睦を深めていただきました。来年度も、盛り上がる同窓会総会にしたいと思っております。多くの同窓生のみならずのご参加をお待ちしております。





# 水高生のノブレス・オブリージ



校長 高橋 和夫

同窓生の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。赴任以来、同窓生の皆様の母校に対する熱い思いに接し、大変ありがたく思っております。また、本校に勤務することの幸せを感じております。生徒達にとっても、このような恵まれた環境の中で学習や部活動に励むことは幸せなことだと思います。

さて、今年度は創立103周年を迎え、さらに学校の活性化と魅力ある学校づくりを図るべく、生徒・教職員が一丸となって取り組んでいるところです。

生徒達の部活動での活躍は目覚ましいものがあります。詳細は他のページに譲ることにして、全国大会入賞についての

み触れたいと思います。全国高校総合体育大会ウエイトリフティング競技では及川佳将君(3年)が見事優勝に輝き、国民体育大会では、及川佳将君が2位、千葉健介君(3年)が3位に入賞しました。尚、及川佳将君は岩手日報体育賞を受賞しています。また、文化部の書道部、短詩・文芸部、囲碁将棋部の活躍も目覚ましく、全国大会で上位に入賞することができました。第18回全日本高校・大学書道展では、団体

が6位入賞、2年の菱谷ほのかさんが大賞に輝きました。全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門で優良賞(5位)を受賞、また第16回俳句甲子園大会では5位に入賞しています。全国高等学校総合文化祭囲碁部門では、1年の星野初音さんが他校の生徒とメンバーを組んで臨んだ団体戦で5位に入賞しました。他にも、全国大会に出場した部や個人、平成26年度の全国大会出場を決めた部が複数あります。また東北大会や県大会での活躍など本場に素晴らしいと感じています。これも偏に、同窓生の皆様の築き上げた伝統を受け継ぎ、発展させようとの思いで取り組んだ成果だと嬉しく思っています。

学習面、特に3年生の進路状況推薦やAO入試については、過去最高の合格率となるなど例年以上に好調に推移していると判断しております。センター試験が終わったばかりで、これから本番でありますが、生徒の目標実現に向け職員一丸となって誠心誠意取り組んでいるところです。

標題の「ノブレス・オブリージ」はフランス語「Noblesse(貴族)」と「Obliger(義務、責任を負う)」を合成した言葉で、高校

生に対して言うときは「上に立つ者、リーダーたる者、あるいは、リーダーにならないとする者は、果たさなければならぬ義務や責任がある」という意味で用います。水高生のノブレス・オブリージとは、胆江地区のセントラススクールで学ぶ者として、学業に専念し、部活動や奉仕活動などに積極的かつ主体的に取り組むこと、そして挨拶や礼儀、マナーについての心掛けもしっかりできていることと捉えて指導しています。また生徒達には、孔子の言う『恕の精神』即ち『思いやりの心』と孟子の言う『忍びざるの心』即ち『人の不幸を見過ごすことのできない心』の大切さについても説いています。

私は東日本大震災の際、校長として大植高校に勤務していました。私自身も被災し、大植高校の避難所運営をしていたとき、「日本人は思いやりがあり、人の不幸を見過ごしてはいない」と心底思いました。大震災は多くの尊い命を奪い、甚大な被害をもたらしましたが、被災地には全国各地から思いやりや真心が多数寄せられ、人との繋がりがやがや大切さをしみじみ感じて参りました。しかしながら、最近では痛ましい事件や事故が相次いでいます。このような世の中だからこそ、『恕の精神』や『忍びざるの心』を大事にしなければならぬと生徒達に話しています。勿論生徒達は、私が言うまでもなく、復興支援等の奉仕活動に率先して取り組んでいて大変嬉しく感じているところです。

盛岡支部総会は7月12日「サンセール盛岡」で開催されました。始めに、同窓会会員である弁護士の方田瑞彦君による「岐路に立つ裁判員制度」について、講話をいただきました。とても興味深い話でした。その後、総会、懇親会とすすめられました。今回は特に、にぎやかだったのは新しい同窓会会長の長野耕定氏や校長、副校長、事務局の先生方の参加をいただいたことでした。毎年、本部からは来賓の参加をいただいております。本場に有難うございます。



## 関東地区総会

関東地区同窓会総会は、11月9日、東京グリーンパレスで開催。17回目の今回は約70名が参加。水沢から長野耕定同窓会長、高橋和夫校長、事務局の菊池竜太先生と及川伸也先生にご出席頂きました。冒頭、東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げました。議事は、只野康夫会長より「東北楽天イーグルスの優勝に興奮、東北人の血が騒いだ」との挨拶で始まりました。只野会長は今回の総会をもって退任、新会長に山口光さん(15回生、昭和38年卒)を選出。副会長・監事も交代し、新体制となりました。特別講演に移り、山口新会長が講演。国際ジャーナリストとして、2

## 仙台支部総会

仙台支部は平成25年の総会を7月22日、仙台ガーデンパレスで開催しました。本部から長野同窓会長、川島前同窓会副会長、学校から高橋校長先生、同窓会事務局担当の谷木先生をお迎えし、総勢50名の参加での総会懇親会となりました。前回の支部総会は平成24年2月でしたので1年5カ月ぶりの開催です。仙台支部は支部会則で、2年に一回以上の総会を開催することとしていますが、昨年の総会時に本部から毎年開催を検討しては如何かとのアドバイスがありまた会員数(名簿上では約650名)も多くなっていますので、会員相互のコミュニケーション

020年東京オリンピックや北上山地へのILC誘致に因り、奥州市の課題と歴史的潜在ポテンシャルについて解説。また新会長として、「関東地区同窓会、水高卒業生の交流・情報共有のナショナル・ハブセンター」としたいと表明されました。

懇親会では、4月に首都圏の大学に進学した卒業生4名が参加。先輩諸氏と交流してもらいました。時間とともに、お酒で舌も滑らかになり、水高や故郷を想い、談笑や議論の輪ができました。最後に、逍遙歌を作詞者阿部庄一郎先生のお嬢様松樹借子さん(3回生、昭和26年卒)の歌唱指導で歌い、「応援団長」高橋徹さん(26回生、昭和49年卒)に応援団OBの菊池先生と大学生菊池聡君が加わりタクトをとり、

ンの機会を多くし、かつ母校の最新の情報を直接校長先生からお聞きし、後輩諸君の活躍ぶりや学校の発展ぶりに触れその応援の機会が増えればということ。今年開催の試行としました。今回の参加者は昭和26年卒業(高校3回)から平成7年卒業(高校47回)までと、まさに100周年を過ぎた学校の同窓会にふさわしいものでした。長野同窓会会長、高橋校長先生はじめ来賓各位から同窓会や



校歌を斉唱し会を終えました。(関東地区同窓会 工藤康博 (20回生、昭和43年卒))



学校の近況などをお聞きし、後輩の各分野での活躍や、往年の竜が馬場の思い出などを話題にし大いに気を良くし、旧交を温め懇親を深め2時間があっという間に過ぎ最後は校歌斉唱で解散となりました。

今後仙台支部としては、総会開催日時の固定化、会員の皆様への連絡方法の改善などなど宿題がありますが毎年開催を定着させたいものだと考えています。なお、仙台支部同窓会への連絡先は以下のとおりです。  
〒980-0022  
仙台市青葉区五橋1丁目7-15 ビースピル五橋8F  
(株)東日本広告社内 根反秀樹

## 卒業60周年盛岡地区同級会 人生の錦秋を楽しむ

及川 陸男(五回生)

卒業60周年と傘寿を記念して8年ぶり4回目の盛岡地区同級会を11月19日ホテルメトロポリタン盛岡で開催した。仙台や奥州、宮古、釜石など県内各地から35名の笑顔が集う。及川英子さんと藤村千恵子さんの受付を経て開会前の語らい。記念写真撮影はプロの岩淵晃行君。渡邊泰安君の司会で進行、岩田行夫君の開会の辞、発起人代表の及川陸男は「人生の錦秋を迎えた今を楽しみ、教育(今日行くところが)と教養(今日用事がある)を心がけていこう」と挨拶。今野徳哉君(奥州)の乾杯で怒涛のような会話で賑やかに。

スピーチは陸上競技一筋の阿部智君(仙台)、豊工業で叙勲の佐藤忠夫君(奥州)、鮭の皮細工発案の山田紀子さん(宮古)、老人クラブ会長の伊藤恰子さん(盛岡)ら多彩。また被災地で老人福祉施設経営に頑張る菊池ミヨ子さん(釜石)の姿に安堵。恩師やクラブ活動など高校当時の思い出や最近の暮らしぶりの話で盛り上がる。柳人佐々木杜夫君(奥州)が内視鏡 ゆれる心ものぞかれる「つい拍手しなくなるよな、いい甲辞」「良い話、聞いて聞かせて、花まる日」の三句を披露し皆同感し肯く。千田正益君の中締め。ここからもしゃべるしゃべるの連続。次回の同級会での再会を誓い散会した。





# '13 クローズアップ。

※1月末日までに岩手日報や胆江日日新聞に掲載された記事を中心に集めております。他紙のものやチェック漏れで掲載できなかったものについてはご容赦下さい。

## 護憲の信条貫く 弁護士千田功平氏が死去

弁護士活動の傍ら、幅広い民事、刑事を問わず、幅広い事業を扱った。一関九条の会では代表、関水と緑を守る会の会長。金ヶ崎町西根出身。中央大学法学部卒業後、1971年に弁護士登録。84年に同市南新町に事務所を開設した。岩手弁護士会に所属し、98年に同会長に就任。弱者に寄り添

も務め、環境保全活動に力を注いだ。同弁護士会は、政府が臨時国会で成立を目指す特定秘密保護法案への反対を表明しており、今月23日には自身が支部長を務める日本国民救済会「秘密保護法のわらい」を開催。講師として同法制定に反対する関係者や市民を呼び掛けるなど、積極的に活動していた。自宅は、一関市桜木町4の6。葬儀は27日午前11時から同市赤塚のせしもの清花堂会館で、喪主は妻千田のり子さん。

千田功平(高12回・昭和35卒)  
岩手日日新聞 平成25年11月26日付

## 世界は今 県人リポート

### 青沼国夫さん フライビン

「日本の懸け橋」育成 地元就職先確保が課題

青沼国夫さん(高24回・昭和47卒)  
岩手日報 平成25年5月5日付

## 停電時も暖房、調理可能 自然エネルギー復興住宅

自然エネルギー復興住宅の建設が進む。自然エネルギー復興住宅の建設が進む。自然エネルギー復興住宅の建設が進む。

小沢 修(高25回・昭和48卒)  
毎日新聞 平成25年3月26日付

## 音楽で地元へ恩返し

### 「桜の声」で注目

motoさん(水沢出身)

大泉 慕(高59回・平成19卒)  
胆江日日 平成25年4月13日付

## 現状から目をそらさず 被災地訪問の輪を広げたい

VOICE

興性寺住職  
司東和光さん(64) 奥州市江刺区

岩手日日新聞 平成25年4月16日付





好成績を挙げた水高女子水球部のメンバー。左から、三宅あかり、林若菜、山崎世也。

### 水沢高勢が好成績

県高校新人大会・水沢  
男子100メートル  
**岡山が県記録更新**

県高校新人大会水球競技大会が、21日、水沢市の水沢高校体育館で閉幕した。男子100メートル水球競技で、岡山県立岡山高等学校の選手が、県記録を更新した。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。男子100メートル水球競技では、岡山県立岡山高等学校の選手が、県記録を更新した。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

胆江日日新聞 平成25年10月3日付



第18回吉本高校・大学書道で賞した水沢高勢の作品。

### 学生書道の頂点に輝く

練習重ね完成度高める  
水沢高 菱谷ほのかさん

県立水高高校の2年生書道部員、菱谷ほのかさん。書道が大好きで、練習を重ねて完成度を高めている。大会では、県記録を更新した。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

胆江日日新聞 平成25年9月6日付

# 現役生の活躍

岩手日報 2013年(平成25年)8月5日(月曜日)

## 重量挙げ 56キ級 及川(水沢)優勝

全国高校 体今大会で県勢初

【本報記者 岩手県水沢市】重量挙げ56キ級の選手、及川佳将(水沢)が、全国高校体育大会(体今大会)で優勝し、県勢初の優勝を果たした。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

及川は予選の2回、1回目で112キを挙げ、2回目で117キを挙げ、合計229キを挙げた。決勝では、1回目で117キを挙げ、2回目で122キを挙げ、合計239キを挙げた。優勝は、2011年、2012年、2013年と連続して優勝した。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

岩手日報 2013年(平成25年)7月22日(月曜日)

## 延長15回の激闘

### 水沢 執念の堅守貫く

【県営球場】▽準々決勝  
水沢 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
盛岡大付 0 0 0 0 0 0 0 2 0 0  
(延長15回引き分け再試合)  
(水) 逸郎一俊勝  
(盛) 松本一幸勝川  
(岩手) 山本  
(大) 大瀬(水) 去石、福岡 (盛)

【評】盛岡大付、水沢は延長15回を戦い、ともに譲らず引き分け再試合となった。盛岡大付は初回に須月の左越え2点本塁打で先制。水沢が三回に大瀬の右翼線二塁打から好機をつくり、小野等の左犠飛と暴投で同点に追いついた。その後は盛岡大付の松本と水沢の逸郎による投手戦。互いにピンチを招いたが、逸郎の力投が光った。

制球重視で完投 水沢の右腕逸郎

【本報記者 岩手県水沢市】水沢高校の投手、逸郎が、準々決勝で盛岡大付と対戦し、制球重視で完投した。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

胆江日日新聞 平成25年10月5日付

## 若々しく開幕演出

### 水沢で総合開会式

胆江の生徒ら企画・運営

【本報記者 岩手県水沢市】水沢高校で、県立水高高校と合同で開催された総合開会式が、5日、水沢高校体育館で開かれた。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

開会式では、水沢高校の生徒らが、企画・運営を行った。大会は、水沢高校が会場をもち、県内各地から選手が集結した。

胆江日日新聞 平成25年10月5日付





ウエイトリフティング部

Table with 2 columns: Name/Weight Class and Result. Lists male and female athletes and their achievements in various competitions.

短詩同好会

神奈川大学高校生全国俳句大賞
最優秀賞 佐藤廉
入賞 佐藤里香、伊藤萌

ESS部

世界遺産・平泉 スピーチコンテスト
優秀賞およびダニエル・カール賞 菅原ほのか

その他

青少年読書感想文岩手県コンクール
最優秀賞 高橋哲朗
自由図書 小野寺悠
課題図書 自由図書

平成25年度激励金交付報告(2月6日現在)

一 運動部 一

Table listing sports departments and their participation in various events like national and regional championships.

一 文化部 一

Table listing cultural departments and their achievements in contests and exhibitions.

一 その他 一

Table listing other activities like judo and karate.

今年度、東北大会・全国大会に出場した部等に、同窓会会計より総額518,000円の激励金を支出しました。

《文化部》

岩手県書写書道教育研究協議会長賞
推薦 松本弥生
菱谷ほか、及川真知、千田まどか、石田夕菜、野上経矩、松本拓海

平成二十五年 職員異動

◆転入
及川 晃貴(副校長) 県教委
佐々木洋貴(事務長) 花巻清風支援
◆転出
菅原 善致(副校長) 花泉高校長
佐藤 功司(生物) 一関一



# 平成26年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 平成26年 8 月 9 日(土)  
場所 水沢グランドホテル  
水沢区東町40  
TEL 25-8311



## 同窓会・水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、同窓会へ4名の方から、総額6万6千円のご寄付を任意にもかかわらず頂戴致しました。同窓会一般会計に入金され、今後の同窓会会報の発行や部活振興等に使用させていただいております。

水高育英会へのご寄付は25名の方より総額43万5千円のご寄付を頂戴致しました。これまでも多くの進学する卒業生を支えてきております。

今後ともご協力をお願いします。

### 同窓会寄付者(平成25年度末確認分・受付順・敬称略)

石川 精子 青 沼 国 夫  
高橋 正樹 佐 藤 義 喜

### 水高育英会寄付者(平成25年度末確認分・受付順・敬称略)

雨 笠 祥 子	小野寺 武 夫	高 橋 寛	藤 田 春 芳	伊 藤 康 道
池 田 芙 沙 子	菊 地 吉 彦	只 野 康 夫	山 根 明 穂	村 上 倍 達
伊 藤 梧 郎	木 村 恵 也	千 葉 龍 二 郎	油 井 孝 雄	森 岡 陽 一
及 川 征 一	今 野 眺	長 野 耕 定	芳 沢 莖 子	平 賀 和 幸 喜
小野寺 清 哉	佐々木 勲	羽 岡 洋 輔	渡 辺 主 喜	佐 藤 義 喜

### 同窓生の著書(図書館寄贈分)

平成25年度末現在

著 者	書 名	卒 業 年
朝 倉 宏 哉	詩集 鬼首行き	第8回・昭和31年卒

皆様からの一層のご支援とご声援をいただければ幸いです。



今年度は、部活動では、運動部、文化部とも全国レベルでの活躍が目立ちました。悲願の甲子園出場もあと一歩というところまでいきました。

さて、最近水高卒業生の名を語った「オレオレ詐欺」が数件報告されております。十分に注意していただきたいと思います。

水高生は毎日、勉強や部活動にと意欲的な日々を過ごしております。同窓生の皆様からのご支援とご声援をいただければ幸いです。

### 編集後記

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。

詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。